

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		岩滝保育所整備事業					
事業の概要		本施設の砂場の屋根は老朽化が進展しており、万が一の事故を防ぐためにも施設の更新は不可欠である。また、本保育所は災害時の避難所に指定されており、砂場はその炊き出し場所として想定されている。災害時の円滑な利用に資するためにも、施設を万全の状態に維持しておく必要がある。 < 工事内容 > 砂場上屋塗装他改修工事					
		事業期間	平成19年度				
		総事業費	1,102	本年度事業費	1,102	交付金交付額	551
事業評価	事業の必要性	幼児の使用する本施設において、事故はあってはならないものであり、早急に取り扱わなければならない。さらに、災害時の使用も想定されているため、その使用に十分耐えうるものとしておく必要がある。					
	事業の有効性	本事業により砂場を利用する園児の安全を確保でき、また、災害時の避難所としてもその機能が十分に発揮できるものとなる。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		今回の整備により、避難所として指定された本保育所の砂場は炊き出し場所として活用が大いに期待され、災害時の円滑な利用に資する。					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果 施設の老朽化に伴い、適切な時期に整備を行うことで、施設の長寿命化を図ることができる。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。